

取扱説明書

肥料散布器 R-20

肥料をムラなく
全面均一に散布できる!

手まきパイプ
全面散布とスジ撒き

中間パイプ
長さ調節用

袋本体
最大容量20kg

スタンド
パイプ

製造ロット
ラベル

ジャバラ
止め金具セット(小)

ジャバラ
止め金具セット(大)

別売 先パイプ
(スジ撒き)

ハンドル
散布用取っ手

元パイプ(調整弁付)
「ひらく」「しまる」調節用

調整弁

ジャバラ

製品に関するお問い合わせ等は
まず、ご購入の販売店にご相談ください。
または、下記の全国共通フリーダイヤルでもお受けいたします。

丸山サポートセンター
☎ 0120-898-114

受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

製品についてお問い合わせいただく際は、
正確にご対応させていただくため
あらかじめ、下記の事項をご準備ください。

製品型式名・製造番号／ご購入年月日／販売店名

 株式会社 丸山製作所
本社/東京都千代田区内神田3-4-15 TEL (03) 3252-2281(営・代表) 〒101-0047

この度は、肥料散布器をお買い上げ頂き有難うございます。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読み頂いて、十分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮でき、安全にご使用できるように、この冊子をご活用ください。
また、お読みになったあと必ず大切に保存し、わからないことがあったときには取り出してお読みください。
本製品について不明やお気付きの点がありましたら、最寄の取扱店にお問い合わせください。

●適用範囲について

本製品は、直径0.1mm～3mmまでの粒状固形肥料の散布を目的とした製品です。
これ以外の目的に使用しないでください。また、改良しないでください。

●注意表示について

取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱上の注意事項について、次のように表示してあります。

▲注意…その警告に従わなかった場合、けがを負う可能性があるもの。

▲注意

- ①自分の体に健康と安全のために、保護具（ゴーグルタイプの保護メガネ、保護マスク、保護手袋、作業靴、帽子）保護衣を着用して下さい。保護具はいつも正常に機能するように、点検・整備をして正しくご使用ください。
- ②散布現場で肥料を入れてください。移動中に、本機が倒れ肥料がこぼれる恐れがあります。
- ③散布現場に無用の人は、近づけないでください。飛び散った粒で目を損傷させたり、振り回しているパイプで怪我をさせる恐れがあります。
- ④残った肥料は、元の肥料袋に戻して保管してください。何の肥料が分からなくなる恐れがあります。
- ⑤肥料の取扱説明書を良く読んで必要量だけ撒いてください。
- ⑥スタンドパイプを閉める時に、指を挟んで怪我をする恐れがありますので、十分に注意してください。
- ⑦袋には、20kg以上の肥料を入れないでください。背負いベルトが、それ以上の重量に耐えられない場合があります。
- ⑧パイプの接続は、振り回したときに離れ飛ばないように、強めに差し込んでください。抜けたパイプが飛び、人に怪我をさせる恐れがあります。
- ⑨散布時は周りを良く確かめてからスタートしてください。
- ⑩保管は子供の手の届かない所にしてください。

作業前の準備

- (1) 背負いベルトの長さを調節してください。（肥料を入れる前に、使用者の体型に長さを合わせます。）
- (2) 樹脂及びゴム部品は、紫外線等で劣化する可能性があります。使用前に各部に異常がないか確認してください。
- (3) 散布する面積・場所に合わせて、パイプをセットします。振り回して離れないようにそれぞれのパイプの接続は、強めに差し込んでください。
- (4) 散布器本体のスタンドパイプを広げ安定させ、袋を大きく広げてから肥料を袋へ入れてください。その際は、調節弁を必ず（しまる）にセットしておいてください。入れ終わりましたら、袋上部の紐を左右に引っ張り、袋上部が完全に閉じたら紐止めで紐が緩まないようにしっかりと止めてください。
- (5) スタンドパイプをたたみ、ゆっくりと散布器を背負います。

散布のしかた

- (1) 周りに人や物が無いのを確認して、調節弁を（ひらく）にセットしますと、散布出来ます。全面散布する場合は、横八（∞）の字をイメージして、左右に大きく振ってください。幅広く均一に散布ができます。
- (2) 散布を途中でストップする際は、パイプ全体を上向きにしてから、調節弁を（しまる）にしてください。
- (3) 袋の中の肥料が少量になり散布しにくくなった場合は、空いている方の手で袋の底を叩くようにして散布してください。

※ 液体や粒子の大きい肥料、粘りがある肥料は使用出来ません。

使用後の手入れのしかた

使用後は袋及びパイプ等の部品に付着している肥料を完全に出してから保管してください。

補修部品の供給年限について

本製品の補修用部品の供給年限は、本製品の製造を打ちきり後9年です。但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。